

(参考資料としての利用に限る)

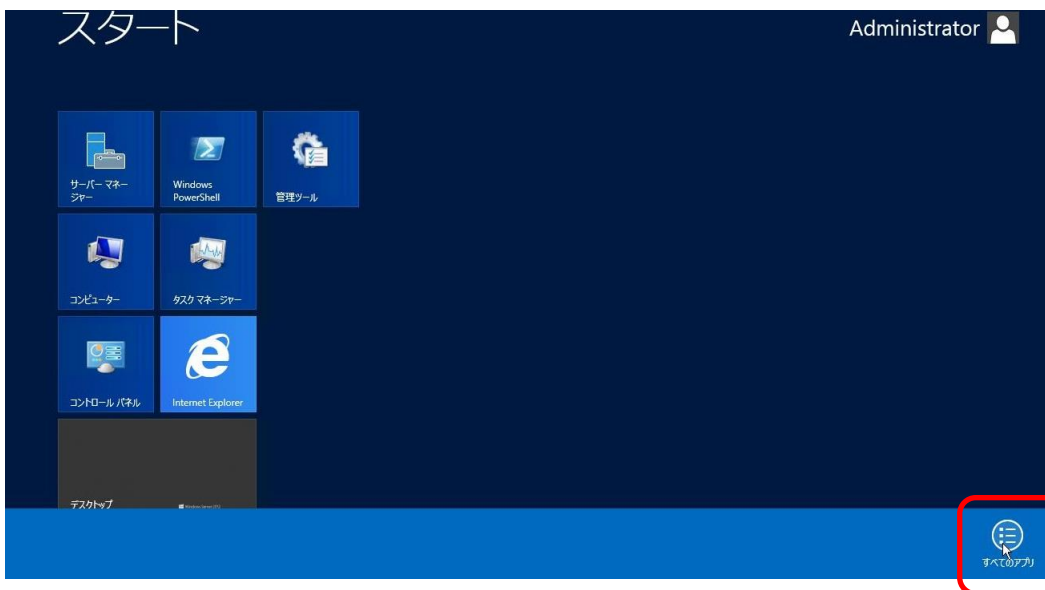
Microsoft IIS8.x/10 サーバ証明書エクスポート方法

1. はじめに

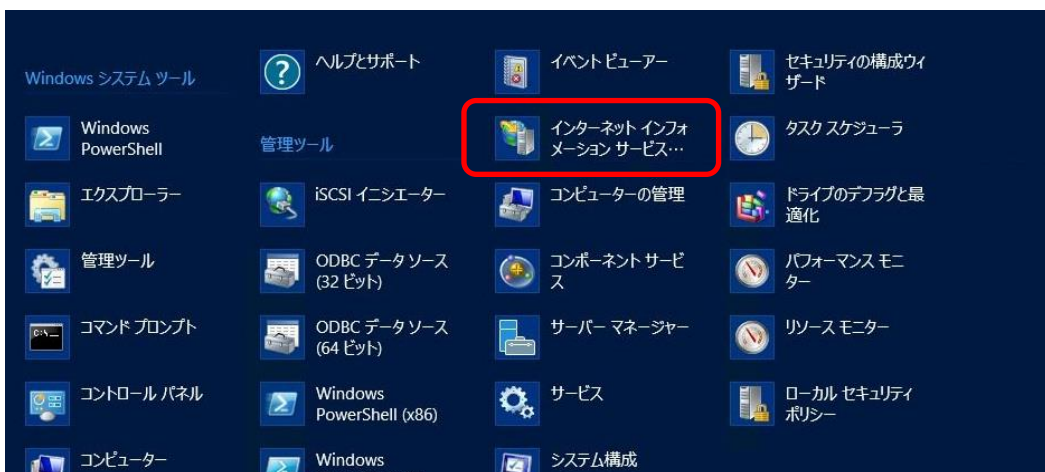
Microsoft IIS8.x/10 環境下での、サーバ証明書および秘密鍵をエクスポートする手順を以下に説明します。

2. Windows Server 2012/2016 からのサーバ証明書と秘密鍵のエクスポート

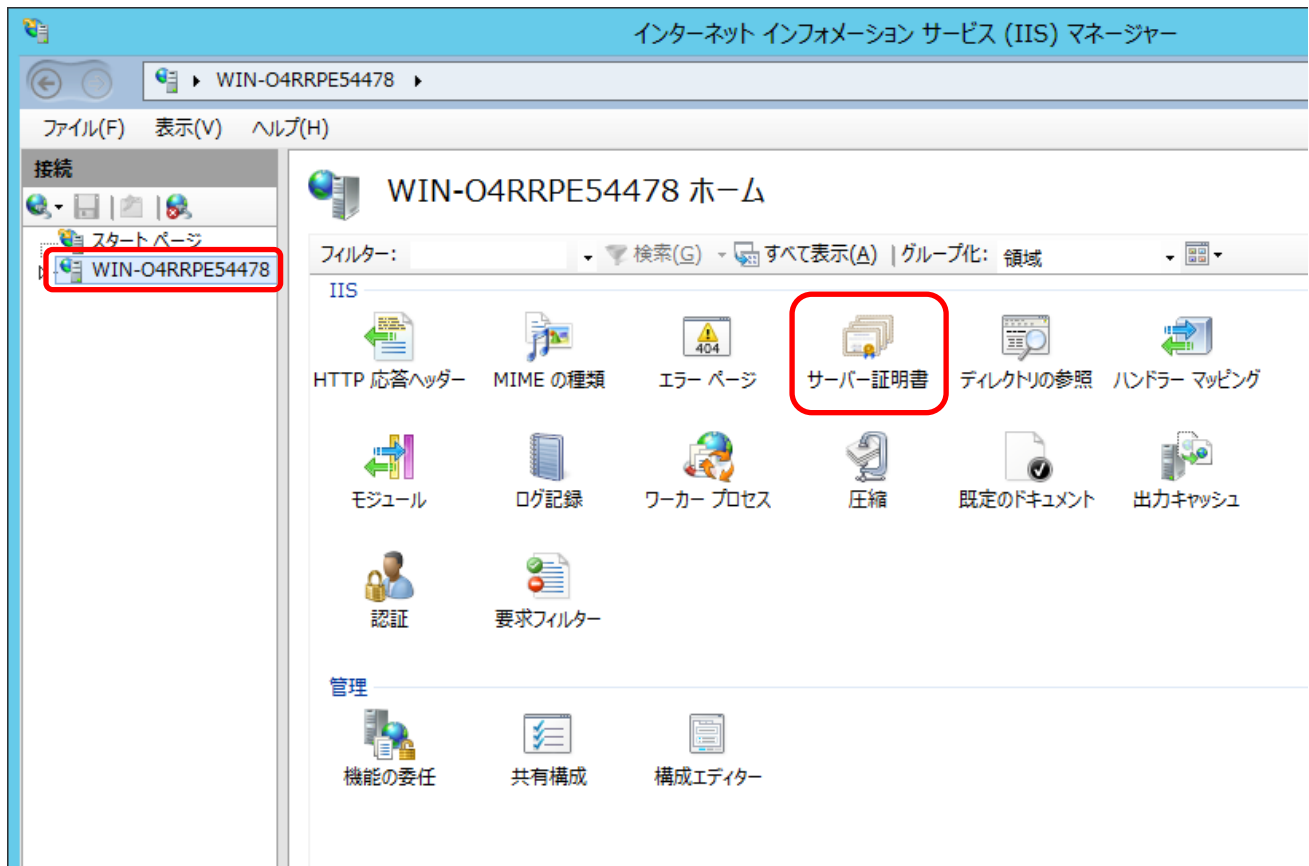
(1) Windows キーを押して【スタートメニュー】を表示し右クリックから【すべてのアプリ】にアクセスします。



(2) 一覧画面から【インターネットインフォメーションサービスマネージャ】にアクセスします。

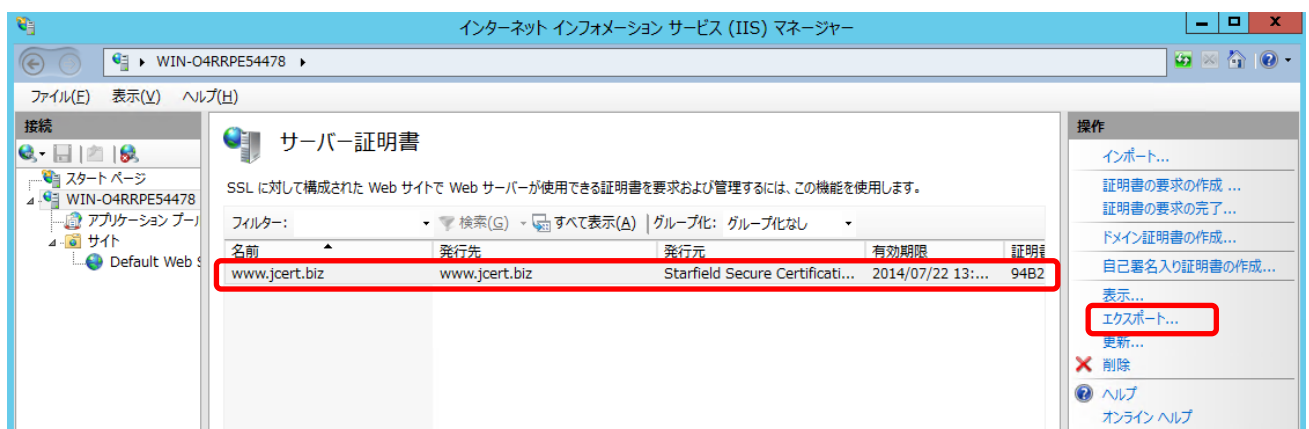


(3) 以下の画面が開きますので、【サーバ証明書】をダブルクリックします。



(4) エクスポートしたいサーバ証明書を選択、右側の操作メニューの【エクスポート】をクリックします。

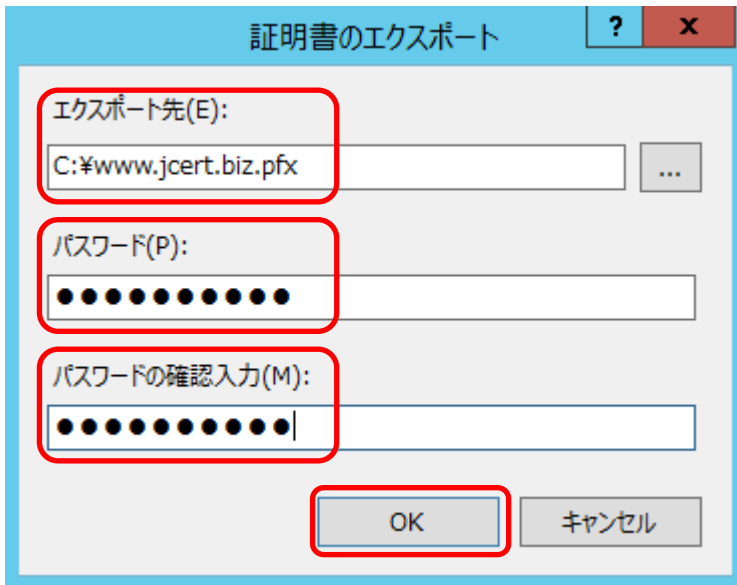
なお、認証局証明書（中間証明書）も同梱のうえ、エクスポートさせたい場合は、別途（6）以降に記載の手順にてエクスポートしてください。ただし、マルチドメイン証明書やワイルドカード証明書など、発行済証明書を別サーバの異なる IIS にインポートするためにバックアップ（エクスポート）する場合にはこのまま進んでください（手順（6）以降に進まないでください）



(5) バックアップを保存する場所とファイル名を指定します。【・・・】をクリックして選択します。拡張子は .pfx が利用されます。

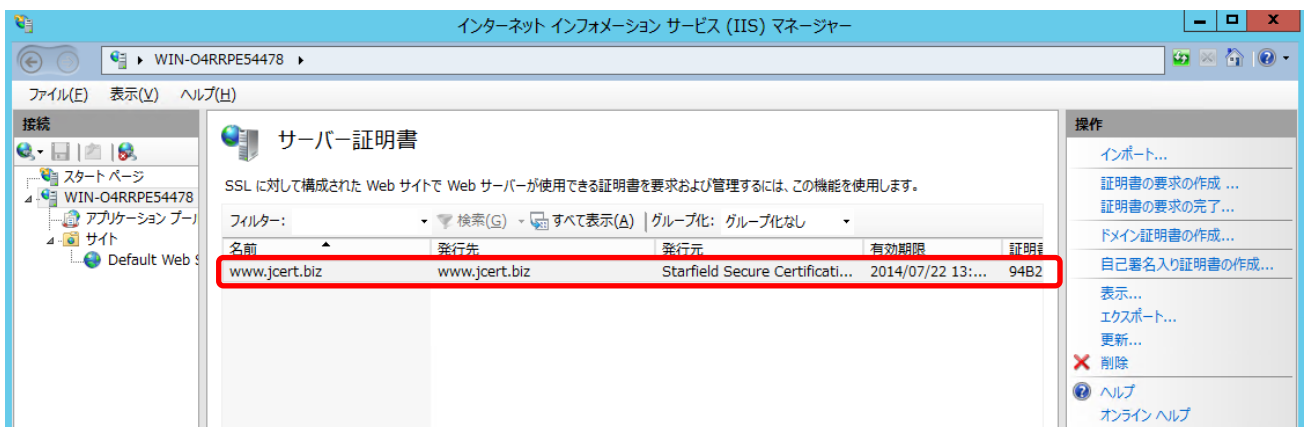
暗号化のため、パスワードを入力します。ここで入力したパスワードを紛失するとバックアップが利用できなくなってしまうので、取り扱いには十分注意してください。

パスワードを 2 度入力後、【OK】をクリックします。

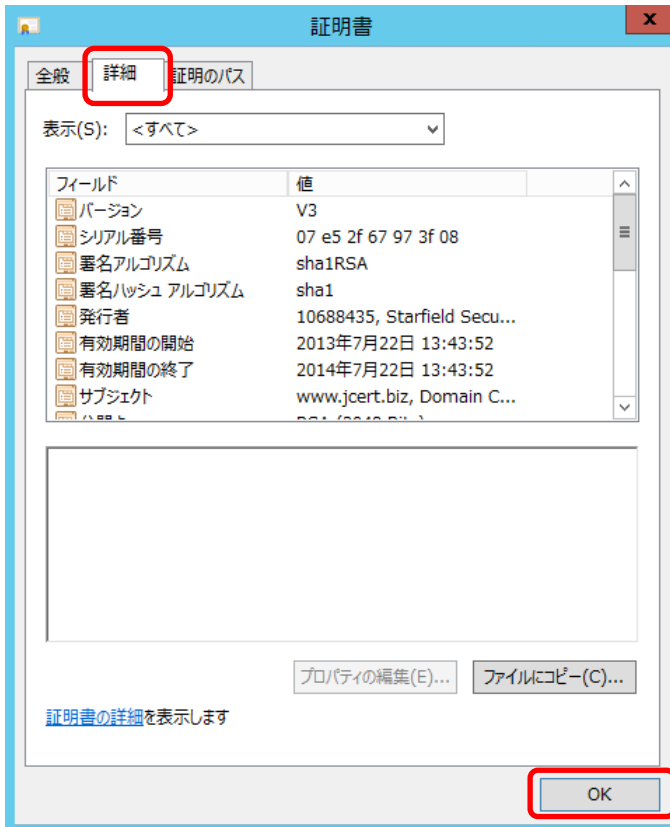


以上で、サーバ証明書と秘密鍵の同梱ファイルのエクスポートは完了です。

(6) エクスポートファイルに認証局証明書（中間証明書）も同梱させたい場合は、「インターネット インフォメーション サービス(IIS)マネージャー」の画面からエクスポートさせたい証明書をダブルクリックします。



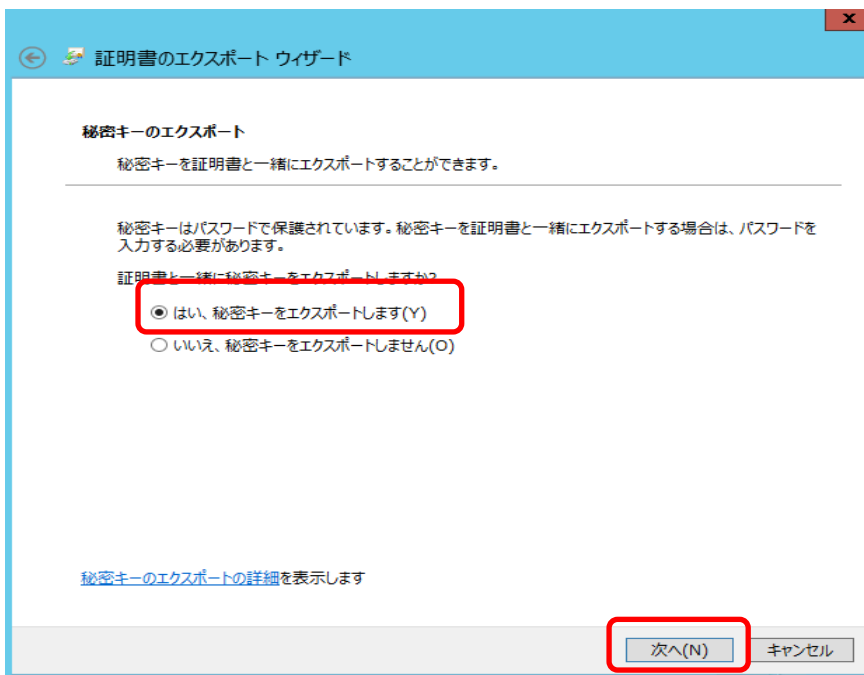
(7) サーバ証明書の詳細が表示されますので、【詳細設定】タブを選択し【ファイルにコピー】をクリックします。



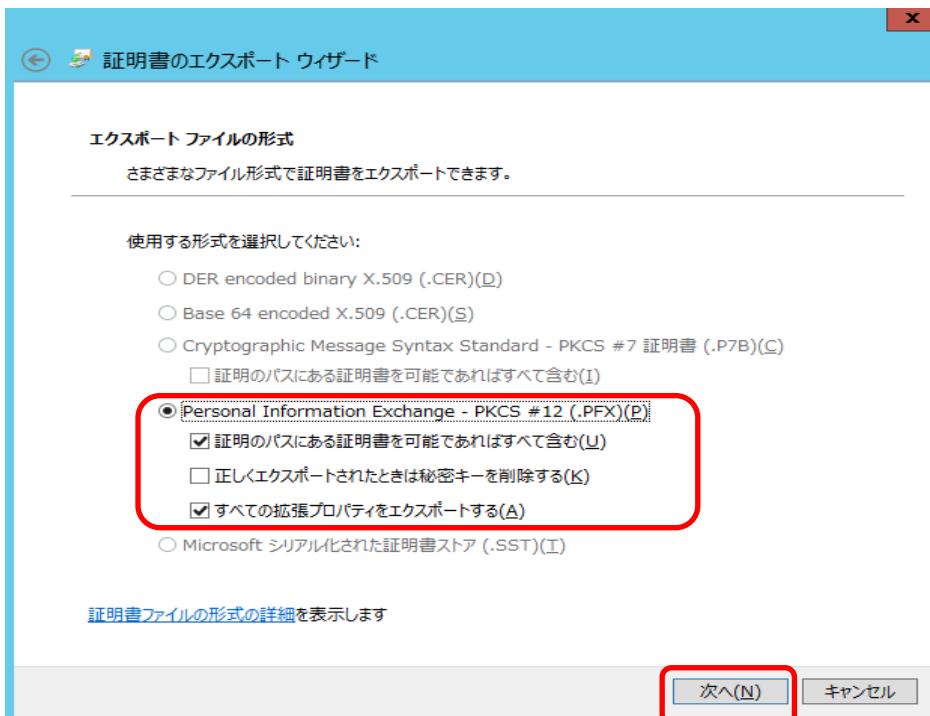
(8) 証明書のエクスポートウィザードが立ち上がりますので、【次へ】をクリックします。



(9) 秘密鍵のバックアップを取るか聞かれますので、【はい、秘密キーをエクスポートします】を選択し【次へ】をクリックします。



(10) バックアップの形式を選択しますが、秘密鍵と同時にサーバ証明書をバックアップする場合、PKCS #12 形式となります。 認証局証明書（中間証明書）を PKCS#12 に同梱させたい場合は、ここで必ず【証明書パスにある証明書を可能であればすべて含む】にチェックを入れてください。 【すべての拡張プロパティをエクスポートする】にチェックを入れてください。 【次へ】をクリックします。

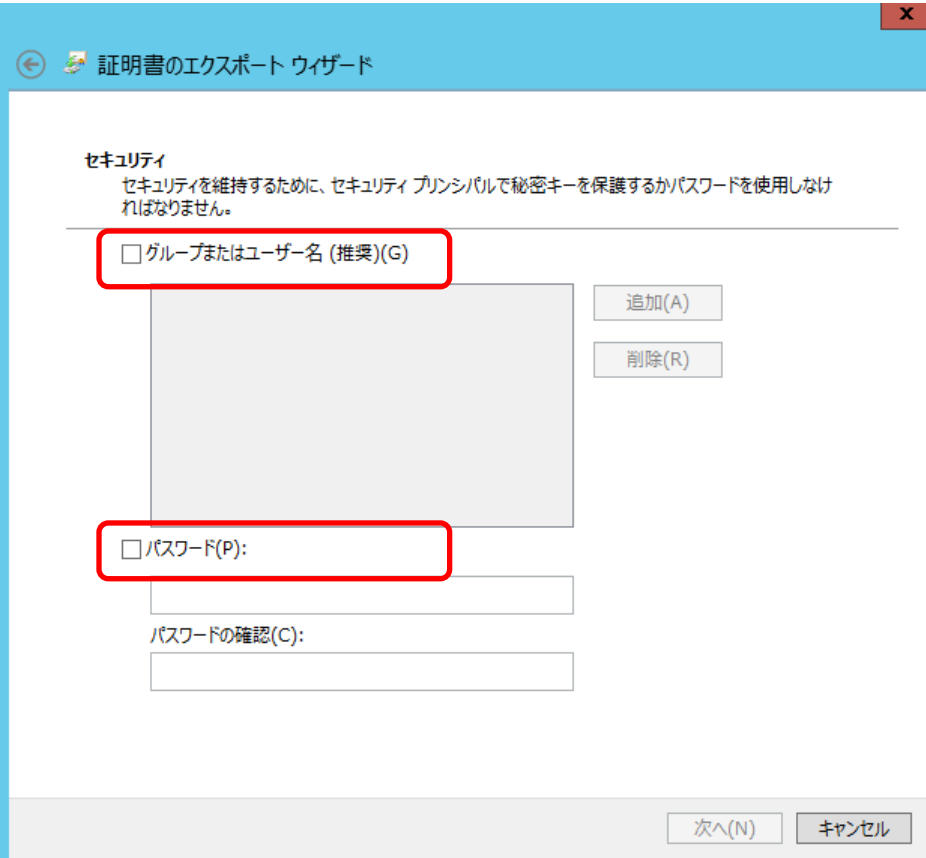


(11) 「セキュリティ」の設定では以下のようなセキュリティの組み合わせを行うことが可能です。

1. 「グループまたはユーザー名」にのみチェックをつける： **許可ユーザ・グループとして追加された ActiveDirectory ドメイン管理のユーザ・グループのみ**この証明書のインポートが可能となります。
2. 「パスワード」にのみチェックをつける： 正しいパスワードを入力した場合、**その全てのユーザが**この証明書をインポートすることが可能となります。
3. 「グループまたはユーザー名」および「パスワード」の両方にチェックをつける： 許可ユーザ・グループとして追加された ActiveDirectory ドメイン管理のユーザ・グループは**パスワード不要で証明書のインポートが可能となり**、**その他のユーザは正しいパスワードを入力した場合に限り**、この証明書をインポートすることが可能となります。

ここでは推奨の「グループまたはユーザー名」の利用と、**ActiveDirectory** ドメイン管理を行っていない場合を考慮して「パスワード」の 両方にチェックを入れ、進みます。

※「グループまたはユーザー名」は **ActiveDirectory** ドメインが構成されている場合のみ選択が可能です。選択出来ない場合は「パスワード」のみにチェックをいれて下さい。



証明書のエクスポート ウィザード

セキュリティ
セキュリティを維持するために、セキュリティ プリンシパルで秘密キーを保護するかパスワードを使用しなければなりません。

グループまたはユーザー名 (推奨)(G)

追加(A)

削除(R)

パスワード(P):

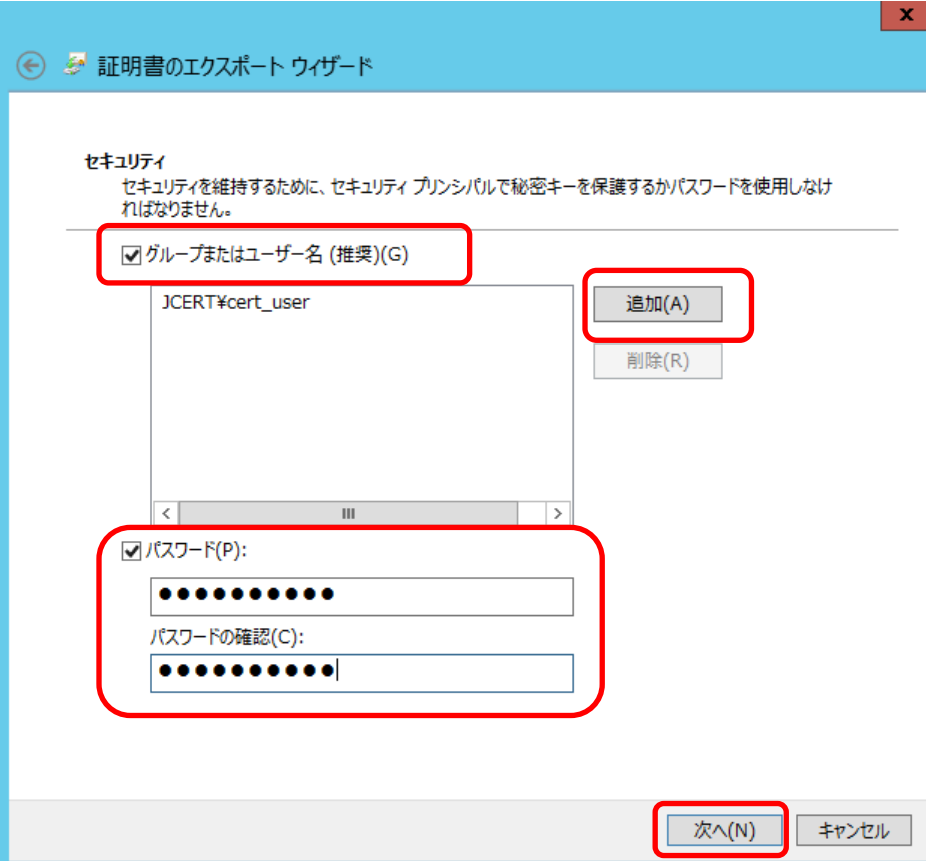
パスワードの確認(C):

次へ(N) キャンセル

(12) 『グループまたはユーザー名』にチェックを入れ【追加】をクリックし、ユーザまたはグループを追加し、『パスワード』にチェックを入れパスワードを入力します。

バックアップする秘密鍵はセキュリティを確保するため、暗号化されたものが保存されます。

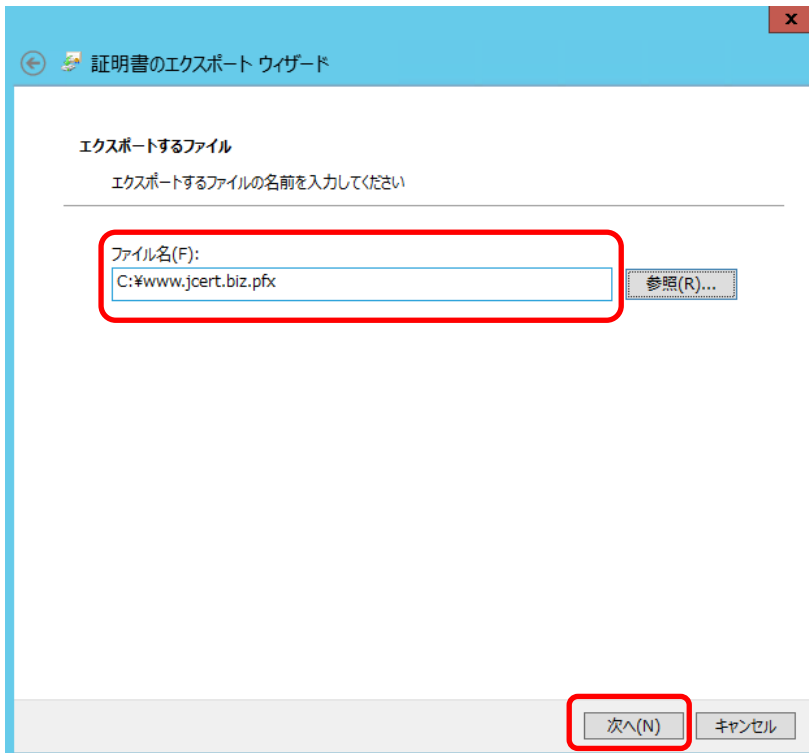
暗号化のため、パスワードを入力します。ここで入力したパスワードを紛失するとバックアップの利用ができなくなってしまうので、取り扱いには十分ご注意ください。パスワード入力後、【次へ】をクリックします。



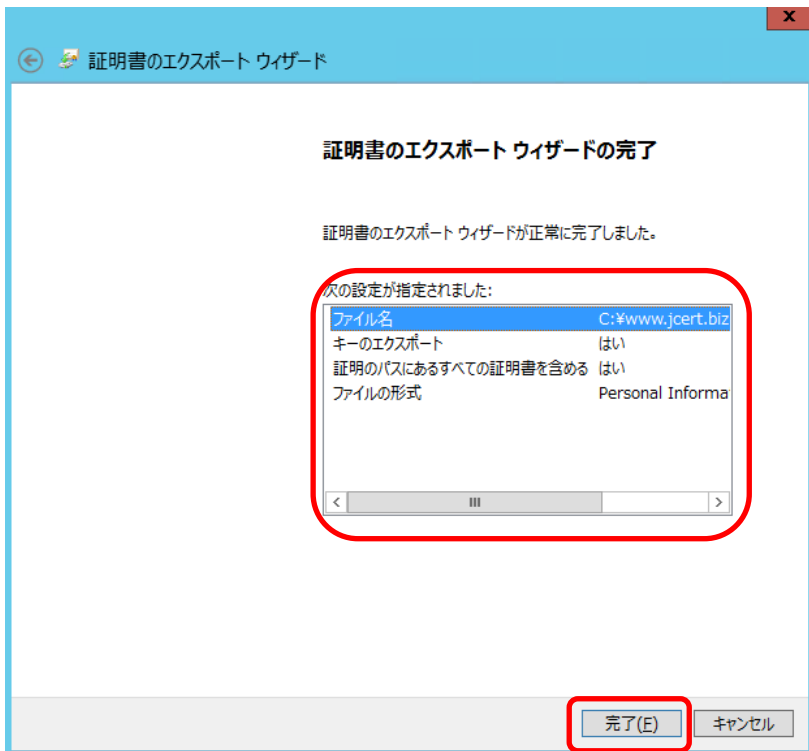
The screenshot shows the 'Security' section of the 'Certificate Export Wizard' dialog box. The title bar reads '証明書のエクスポート ウィザード'. Below the title bar, the text 'セキュリティ' is followed by a warning: 'セキュリティを維持するために、セキュリティ プリンシパルで秘密キーを保護するかパスワードを使用しなければなりません。' (To maintain security, you must use a password to protect the secret key with a security principal). There are three main sections highlighted with red boxes:

- The first section contains a checked checkbox labeled 'グループまたはユーザー名 (推奨)(G)' (Group or user name (recommended)(G)). Below it is a list box containing 'JCERT¥cert_user'. To the right of the list box are two buttons: '追加(A)' (Add) and '削除(R)' (Remove).
- The second section contains a checked checkbox labeled 'パスワード(P):' (Password). Below it is a password input field with 12 dots. Below that is a label 'パスワードの確認(C):' (Confirm password) followed by another password input field with 12 dots.
- The third section at the bottom right contains a '次へ(N)' (Next) button and a 'キャンセル' (Cancel) button.

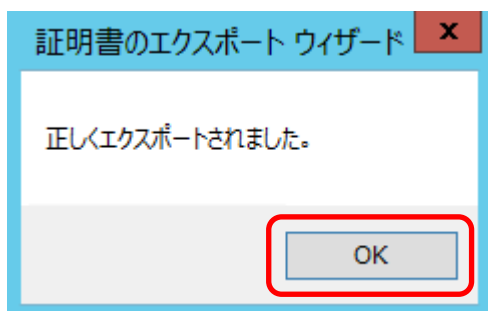
(13) バックアップを保存する場所とファイル名を指定します。【参照】をクリックして選択します。拡張子は .pfx が利用されます。【次へ】をクリックします。



(14) 最終確認のため、今まで入力・選択した内容が表示されますので、確認の上【完了】をクリックします。



(15) バックアップの保存が完了すると【正しくエクスポートされました。】というメッセージが現れますので、【OK】をクリックします。



以上で、エクスポート完了です。

この文書に記載されている情報は予告なしに変更されることがあります。この文書に記載されている情報に従ってユーザーが操作を行った結果、ユーザーが被る損害については、ジェイサートでは一切責任を負いません。ユーザーは自己責任においてのみ、この文書を使用するものとします。